

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-196002

(P2007-196002A)

(43) 公開日 平成19年8月9日(2007.8.9)

(51) Int. Cl.

A61F 6/04 (2006.01)

F I

A61F 5/43

テーマコード (参考)

4C098

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2007-68176 (P2007-68176)
 (22) 出願日 平成19年3月16日 (2007.3.16)
 (62) 分割の表示 特願平10-545731の分割
 原出願日 平成10年3月6日 (1998.3.6)
 (31) 優先権主張番号 08/824, 432
 (32) 優先日 平成9年3月26日 (1997.3.26)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 305044361
 トンプソン、ロバート・ビィ
 アメリカ合衆国・33157・フロリダ州
 ・マイアミ・サウスウエスト 153 ス
 トリート・10503
 (74) 代理人 100070150
 弁理士 伊東 忠彦
 (72) 発明者 トンプソン、ロバート・ビィ
 アメリカ合衆国・33157・フロリダ州
 ・マイアミ・サウスウエスト 153 ス
 トリート・10503
 Fターム(参考) 4C098 AA06 EE20

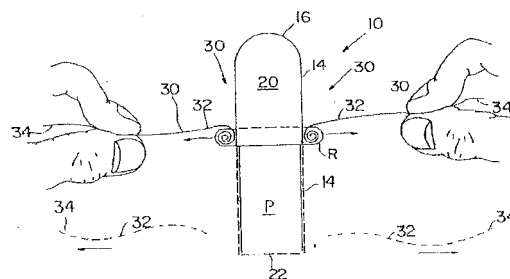
(54) 【発明の名称】 巻揚げタブ・コンドームおよびその装着方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 アプリケータ・アセンブリによりコンドームのサイズが著しく増大せず、暗闇の中で触れることによりアプリケータを確実にかつ容易に動作させることができ、使用者の手の単一動作で陰茎全面に速やかにコンドームを巻き戻せることができ、製造に費用がかからない、一体型アプリケータ・アセンブリを含むコンドームを提供する。

【解決手段】 第1の側壁端部および第2の側壁端部を有するコンドーム管状側壁14が、第2の側壁端部から第1の側壁端部に向かって外側にかつそれ自体の上に巻かれて側壁ロールを形成するコンドーム管状側壁と、第1の側壁端部で管状側壁14に密封状態で接合するコンドーム末端壁と、把持用タブ端部セグメント34を有する軟質材料の細片32であって、細片32の把持用タブ端部セグメント34および触知可能な表面が側壁ロールから突出するように、側壁ロール内に巻き込まれている少なくとも1つの細片とを含む構成とする。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の側壁端部 1 6 および第 2 の側壁端部 2 2 を有するコンドーム管状側壁 1 4 であり、前記管状側壁 1 4 が、前記第 2 の側壁端部 2 2 から前記第 1 の側壁端部 1 6 に向かって外向きにかつ前記管状側壁 1 4 の上に巻かれて側壁ロールを形成するコンドーム管状側壁 1 4 と、

前記第 1 の側壁端部 1 6 で、前記管状側壁 1 4 に密封状態で接合するコンドーム末端壁 1 6 と、並びに

把持用タブ端部セグメント 3 4 を有する軟質材料の少なくとも 1 つの細片 3 2 であり、前記少なくとも 1 つの細片 3 2 の前記把持用タブ端部セグメント 3 4 が、前記側壁ロールから突出するように、前記側壁ロール内に巻き込まれた少なくとも 1 つの細片 3 2 と、からなるコンドーム 1 0 において、

前記把持用タブ端部セグメント 3 4 の片側に触知可能な表面 3 6 を露出することを特徴とするコンドーム 1 0。

【請求項 2】

前記側壁ロール R 内に巻き込まれた軟質材料の少なくとも 2 つの前記細片 3 2 を含み、前記 2 つの細片 3 2 が、前記管状側壁 1 4 の横方向に対向する部分に位置するものであることを特徴とする請求項 1 に記載のコンドーム 1 0。

【請求項 3】

前記コンドーム 1 0 がラテックス材料で形成され、前記少なくとも 1 つの細片 3 2 が前記ラテックス材料で形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のコンドーム 1 0。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの細片 3 2 が、少なくとも前記第 2 の側壁端部 2 2 から前記第 1 の側壁端部 1 6 まで延びるのに十分な長さであることを特徴とする請求項 1 に記載のコンドーム 1 0。

【請求項 5】

コンドーム 1 0 が、第 1 の側壁端部 1 6 および第 2 の側壁端部 2 2 を有するコンドーム管状側壁 1 4 と、前記第 1 の側壁端部 1 6 で前記管状側壁 1 4 に密封状態で接合するコンドーム末端壁 1 6 とを含むものであり、コンドーム・アプリケーター・アセンブリ 3 0 が把持用タブ端部セグメント 3 4 を有する軟質材料の少なくとも 1 つの細片 3 2 を含むものであるときに、

前記少なくとも 1 つの細片 3 2 を、前記管状側壁 1 4 と一緒に前記第 1 の側壁端部 1 6 に向かって外側にかつ前記管状側壁 1 4 の上に巻き上げて側壁ロールを形成し、それにより前記把持用タブ端部セグメント 3 4 を前記側壁ロールから突出させるステップを含むコンドーム・アプリケーター・アセンブリ 3 0 を含むコンドーム 1 0 の組立て方法において、前記把持用タブ端部セグメント 3 4 の片側に触知可能な表面 3 6 を露出することを特徴とする方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は一般に、産児制限および性交感染症予防用具の分野に関する。より詳細には本発明は、一体型コンドーム・アプリケーター・アセンブリを有するコンドームに関する。

【背景技術】

【0002】

昔から様々なタイプのコンドームおよびコンドーム・パッケージが存在した。コンドームには潤滑性および非潤滑性の種類が含まれ、ラテックスなどの様々な材料で形成されていた。コンドーム・パッケージには、密封状の包み、包装材料、および平らな金属製容器が含まれていた。これらの従来のコンドームおよびコンドーム・パッケージに関する問題とは、使用者がコンドームを装着するときにその補助をせず、また使用者がコンドームをどの方向に向けるか見ることができないために暗闇での使用が困難であるという

10

20

30

40

50

ことである。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

したがって本発明の一目的は、一体型アプリケータ・アセンブリを含むコンドームを提供することである。

【0004】

本発明の別の目的は、そのアプリケータ・アセンブリによってコンドームのサイズが著しく増大しないようなコンドームを提供することである。

【0005】

本発明のさらに別の目的は、暗闇の中で触れることによってアプリケータを確実にかつ容易に動作させることができるように、コンドームを方向づける手段を提供することである。

【0006】

本発明のさらに別の目的は、このアプリケータ・アセンブリによって、使用者の手の単一動作で陰茎全面に速やかにコンドームを巻き戻すようなコンドームを提供することである。

【0007】

本発明の最終の目的は、アプリケータ・アセンブリの製造に費用がかからないコンドームを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明は、上述の目的と、明細書全体の公正な読取りおよび解釈によって決定することが可能なその他の目的を達成する。

【0009】

第1の側壁端部および第2の側壁端部を有するコンドーム管状側壁であって、その第2の側壁端部から第1の側壁端部に向かって外向きに、かつそれ自身の上に巻かれて側壁ロールを形成するコンドーム管状側壁と、第1の側壁端部で管状側壁に密封状態で接合するコンドーム末端壁と、片側に触知可能な表面を持つ把持用タブ端部セグメントを有する軟質材料の少なくとも1つの細片であって、その把持用タブ端部セグメントを容易に把持することができ、かつ触知可能な表面を認識できるように、少なくとも1つの細片の把持用タブ端部セグメントを側壁ロールから突出させて側壁ロール内に巻き込まれている軟質材料の少なくとも1つの細片とを含むコンドームが提供される。

コンドームは、側壁ロール内に巻き込まれた軟質材料の少なくとも2つの細片を含み、この2つの細片は、管状側壁の横方向で、対向する部分に位置することが好ましい。コンドームは、ラテックス・コンドーム材料で形成されることが好ましく、また少なくとも1つの細片は、ラテックス・コンドーム材料で形成されることが好ましい。この少なくとも1つの細片は、少なくとも側壁第2端部から側壁第1端部に延びるのに十分な長さであることが好ましい。触知可能な表面は、少なくともその把持用タブ端部セグメント上に設けられることが好ましい。

前述の少なくとも1つの細片を、管状側壁とともに外側にかつ管状側壁上で側壁第1端部に向かって巻いて側壁ロールを形成する段階を含み、したがって把持用タブ端部セグメントおよび任意選択の触知可能な表面が側壁ロールから突出するコンドームを組み立てる方法が提供される。

コンドームを陰茎に装着する方法であって、タブ端部セグメントを把持する段階と、その触知可能な表面を感じる段階と、コンドームを適正な方向に向ける段階と、コンドーム末端壁を陰茎の遠位端に置き、これによって管状側壁ロールが使用者から離れた方向に向けられる段階と、タブ端部セグメントを管状側壁から横方向に外側へと引き、これによって側壁ロールが陰茎の全面に巻き戻されかつ陰茎に沿って長手方向に送られる段階とを含む方法が提供される。この方法に、少なくとも1つの細片を持ち上げて管状側壁から取り外

10

20

30

40

50

す別のステップも含むことが好ましい。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

コンドーム自体は、コンドーム管状側壁と、末端壁を持つ閉端部と、側壁リムを持つ開端部とを有する一般に従来型のデザインである。コンドームは、側壁リムから末端壁に向かって外向きにかつそれ自体の上に巻き揚げられて側壁ロールを形成する管状側壁を備える。

本発明のコンドーム・アプリータ・アセンブリは軟質材料の2つの細片で形成され、管状側壁と一緒に側壁ロールに巻き込まれて、その結果、タブ端部のセグメントがロールから突出する。端部タブ・セグメントは、暗闇の中でも使用者が側壁ロールを適正な方向に向けることができるように、その片側に触知可能な表面を備えることが好ましい。これらの細片を側壁ロールに巻き込むコンドーム・アセンブリの一方法を提供する。

コンドームを使用するために、使用者はコンドーム末端壁を陰茎の遠位端に接触させて置く。それにより側壁ロールは使用者から離れた方向に向けられる。これは、使用者が2つのタブ端部セグメントを把持するときに、任意選択の触知可能な表面に対する使用者の触覚によって暗闇の中で行われる。次いで使用者は、2つのタブ端部セグメントを陰茎の側面から横方向に外側へと引く。この単一動作によって、側壁ロールは陰茎の周囲にかつ陰茎に沿って長手方向に速やかに巻き戻される。

【0011】

必要に応じて本発明の詳細な実施形態を本明細書に開示するが、開示された実施形態は、様々な形に具体化することが可能な本発明の単なる例示であることが理解されるべきである。したがって、本明細書に開示される特定の構造的および機能的な詳細は限定するものと解釈されるべきではないが、単に請求の範囲の基礎として、かつ本発明を実際に任意の適宜詳細な構造で様々な使用することを当業者に教示するための代表的な基礎として解釈されるべきである。

【0012】

次に図面には参照を付し、様々な図に示す本発明の同じ特徴と形状は同じ参照数字により示す。

【0013】

第1の好ましい実施形態

第1図から第5図を参照すると、コンドーム本体20および一体型コンドーム・アプリータ・アセンブリ30を含むコンドーム10が開示されている。コンドーム本体20自体は従来型のコンドームのデザインであり、コンドーム管状側壁14と、コンドーム末端壁16を持つ閉じた第1側壁端部と、コンドーム管状側壁リム22を持つ開いた第2側壁端部とを有する。コンドーム10は従来の製品形態で、すなわち管状側壁14が側壁リム22から末端壁16に向かって外側にかつそれ自体の上に巻き揚げられ、側壁ロールRが形成された状態で消費者に提供される。

【0014】

本発明のコンドーム・アプリータ・アセンブリ30は、軟質材料である少なくとも1つの、好ましくは2つの細片32を含む。この材料はコンドーム材料が好ましい。細片32は主たるコンドーム本体20から分離しており、細片32の把持用タブ端部セグメント34が側壁ロールRから突出するように、巻かれた管状側壁14と一緒に長手方向に巻き揚げられている。第1図から第3図を参照されたい。把持用タブ端部セグメント34は、片側に触知可能な表面36を有している。第5図を参照されたい。

【0015】

方法

本発明の実施に際し、以下の方法を用いることが可能である。細片32が少なくとも側壁リム22から実質上コンドーム末端壁16まで延びるのに十分な長さとなるように、軟質材料のシートから切り取られるコンドーム10の製造方法が提供される。第2図を参照されたい。細片32は、従来のコンドームの手法により側壁14を外側にかつそれ自体の

10

20

30

40

50

上に巻くにつれて、細片 3 2 の触知可能な表面 3 6 を有する把持用タブ端部セグメント 3 4 が自在な状態でかつ側壁ロール R から突出したままの範囲内で、側壁 1 4 と一緒に巻き上げられる。第 3 図から第 5 図を参照されたい。次いでコンドーム 1 0 は、従来の密封式コンドーム 1 0 容器（図示せず）内に包装することが好ましい。

【0016】

コンドーム 1 0 を使用するために、使用者は、最も近い手の親指と人差し指の間に各タブ端部セグメント 3 4 を挟み、触知可能な表面 3 6 に触れてコンドームを適正な方向に向ける。これは、コンドームが適正に方向づけされないと誤った方向に巻き戻されるからである。必要ならばコンドームの向きを変える。第 5 図を参照されたい。次いで使用者は、コンドーム末端壁 1 6 を従来の方法で陰茎 P の遠位端に接触させて置き、このため管状側壁ロール R は使用者から離れた方向に向く。次いで使用者は、最も近い手の親指と人差し指の間に各タブ端部セグメント 3 4 を把持し、タブ端部セグメント 3 4 を陰茎 P の側面から放射状に、外側へと引く。第 4 図を参照されたい。この単一動作によって、巻かれた側壁 1 4 は素早く巻き戻され、陰茎 P の全面を長手方向に進む。管状側壁 1 4 が完全に巻き戻されると必然的に細片 3 2 も同様に巻き戻されてコンドーム本体 2 0 から解放され、したがって細片 3 2 は使用者によってコンドーム本体 2 0 から取り外される。細片 3 2 は後で拾い、使用済みのコンドーム本体 2 0 と一緒に処分する。

10

【0017】

本発明を、様々な用語で、またはある実施形態で、または実際に仮定される変形例により説明し、開示し、例示し、かつ図示してきたが、本発明の範囲はそれによって限定することを意図するものでも考えるべきでもなく、本明細書の教示によって提案することが可能なその他の変形例または実施形態は、とりわけ本明細書に添付する請求の範囲の広がりおよび範囲内にあるものとして特に確保される。

20

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図 1】使用者に提供されるときに巻かれた形状にあるコンドームおよびコンドーム・アプリケーション・アセンブリの斜視図である。

【図 2】管状側壁を巻き上げる前の全体に延びたコンドーム本体と、第 1 図に示すように側壁と一緒に巻き上げられて側壁ロールになる 2 つの細片の側面図である。

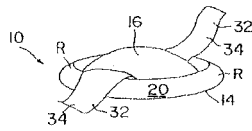
【図 3】コンドーム本体および一部組み立てられた細片の横断側面図であり、管状側壁が一部巻き上げられて側壁ロールになり、第 2 図に示す 2 つの細片と一緒に巻き上げられて管状側壁に巻き込まれている図である。

30

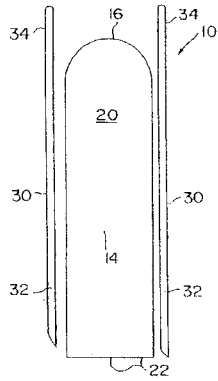
【図 4】使用者の手が陰茎の側面から放射状に外側に進むにつれてロールが一部伸ばされたことを実線で示す以外は、第 3 図と同様の横断側面図である。完全に巻き戻された管状側壁は、解放され分離した細片とともに破線で示す。

【図 5】タブ端部セグメント上の触知可能な表面を示す底面図である。

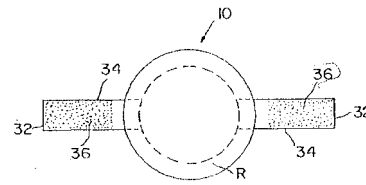
【図 1】



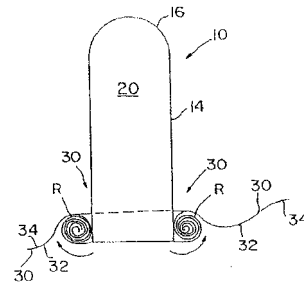
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

